

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

3月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。

2018.5.5 No.74

特集

スクールガード
×
市議会

MENU

- 特集…………… P 2
- 税金の使い道が決まりました…… P 4
- こんなことを審査・調査しました… P 6
- こんなことを聞きました…… P12
- Future…………… P22

スクールガード × 市議会

稲村地区のスクールガードの皆さんに、活動への思いや市議会の印象について伺いました。



照井 良紀さん 田代 勝利さん 増淵 文男さん 増淵 勝子さん 藤田 悦子さん
 小林 久夫さん 杉本 武司さん 相馬 重富さん 小林 貢さん 相馬 昇さん



スクールガードと一緒にやってみませんか



スクールガードとは
 児童生徒の登下校時に見守り活動を行う。児童生徒が安心して学校に通えるよう、時間に追われる保護者に代わり、地域の方を中心にボランティアで行っています。

<スクールガードのボランティアを始めたきっかけは>

- ◆自宅の前を子どもたちが通っていたので、誘われて始めた。
- ◆定年になったことをきっかけに始めるようになった。楽しんでやっている。
- ◆自治会長を担ってから率先して始めた。(第一線をリタイアした方を中心に)

<スクールガードをしていてうれしかったこと、またやりがいは>

- ◆お礼の手紙が来たこと。
- ◆大きくなってスーパーなどで

会うと声をかけてくれる。

- ◆地域の子もたちがわからなかったが、スクールガードを始めてからわかるようになった。(逆に子どもたちにも気にされている。)
- ◆子どもたちが、通知表を見せてくれる。

<スクールガードをしていて大変だったことや苦労したことは>

- ◆車の水はねで濡れてしまった子どもたちを家に送り届けて、着替えさせたことがある。
- ◆下校の時間が午後4時ごろのた

こういう機会があったので市議会にも目を向けないと

め、買い物などをしていて、時間までに見守り場所に行くことが大変なときもある。

- ◆夏の暑い時や、冬の寒い時が大変。
- ◆子どもたちは学校を出るまでは一列でままとまっているが、歩道に出ると先頭と最後列がすぐく離れてしまう。

- ◆子どもたちが危ないと思った時には指導をしているが、なかなか聞いてくれない時もある。何かあってからでは遅い。

<子どもたちへのメッセージやPRは>

- ◆登下校時の子どもたちを見守っているが、子どもたちには自分の命は自分で守ることが大切であるとわかってほしい。
- ◆スクールガードは地域の方が善意で行っているもの。これからも未来ある子どもたちの安心・安全のためにスクールガードをがんばっていききたい。

<市議会に対する印象は>

- ◆議会にも沢山要望が来ていると思う。地域の代表であるので地域の声を行政に届けて地域に貢献してほしい。
- ◆議員の皆さんに期待しているので、地域にもっと目を向けてがんばってほしい。

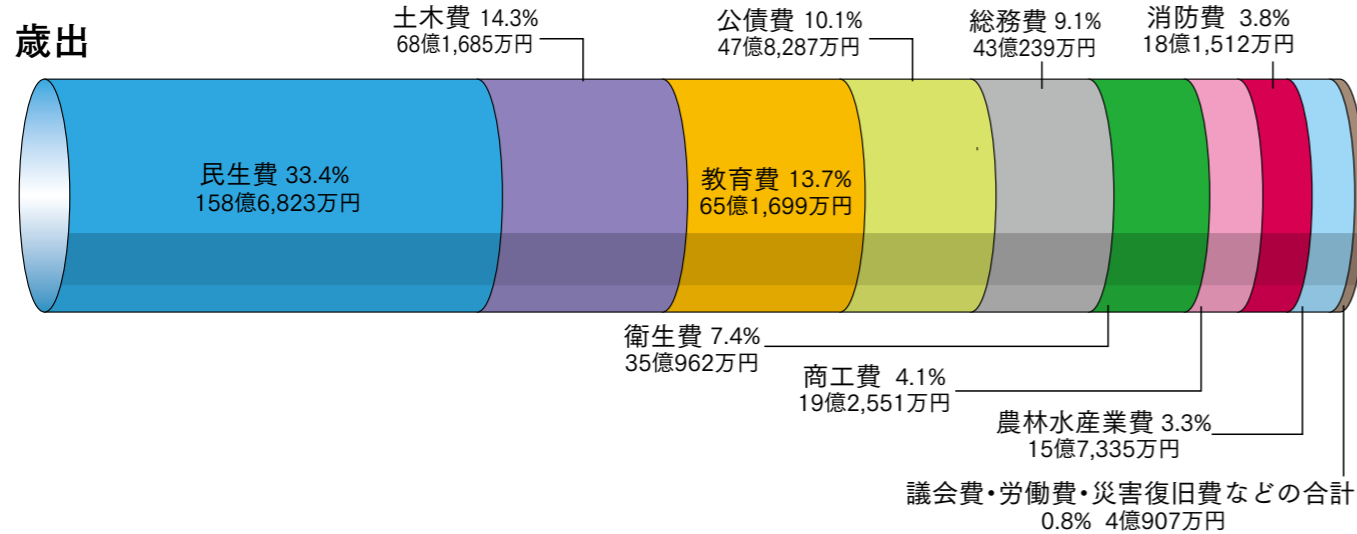
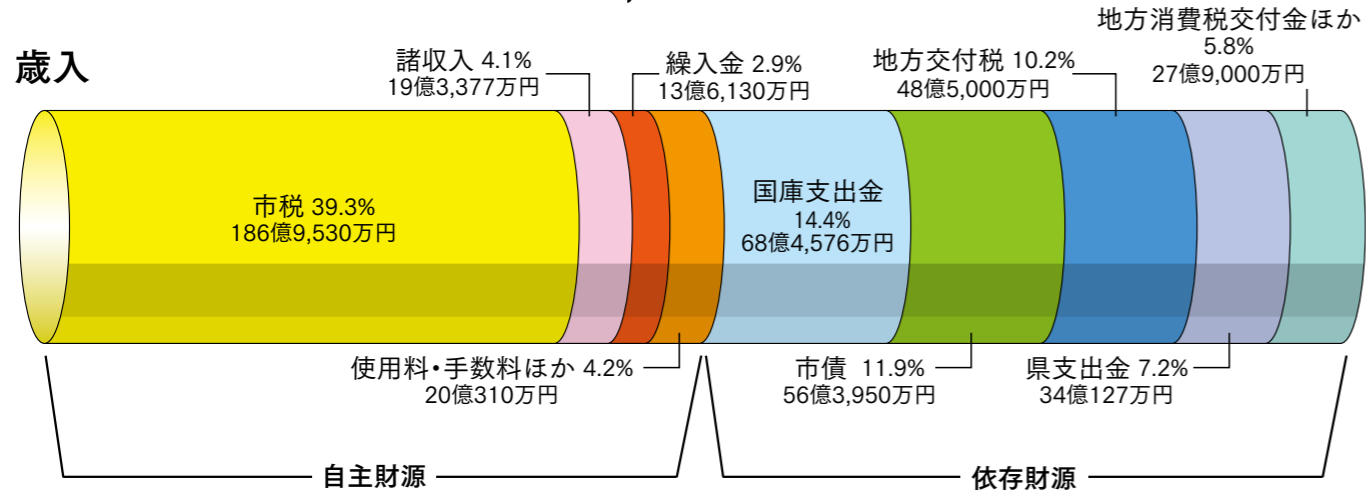


平成30年度予算 税金の使い道が決まりました

一般会計・特別会計
歳入歳出予算
総額728億円を認定

一般会計、特別会計、水道事業会計の10会計における予算について審査を行いました。
皆さんに納めていただく税金の使い道について慎重に審査した結果、10会計すべて原案のとおり可決しました。
一般会計予算は、平成29年度と比べて2%の減、特別会計は、11.9%の減となりました。
使い道の一部を、次のページで紹介します。

一般会計総額 475億2,000万円



特別会計

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	125億4,133万円
後期高齢者医療特別会計	11億 730万円
介護保険特別会計	79億1,091万円
下水道事業特別会計	32億8,760万円
農業集落排水事業特別会計	1億2,154万円
温泉事業特別会計	6,551万円
墓地事業特別会計	293万円
産業団地造成事業特別会計	2億5,321万円
合計	252億9,033万円

水道事業会計

収益的収入	28億6,811万円
収益的支出	25億9,196万円
資本的収入	4億6,414万円
資本的支出	15億6,805万円

皆さんの税金の使い方の一部です

民生費 158億6,823万円



障害者福祉サービス給付費	16億5,251万円
民間保育施設等整備支援事業費	2億1,921万円
高齢者自立対策・生活支援費	1億3,192万円

土木費 68億1,685万円



黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業費	24億8,302万円
那須塩原駅東口パリアフリー化事業費	6,010万円
空き家等対策事業費	2,263万円

教育費 65億1,699万円



青木サッカー場整備事業費・くろいそ運動場整備事業費	7億2,252万円
スポーツ振興費	3,340万円
小学校体育館改築事業費	2,000万円

総務費 43億239万円



新庁舎整備事業費	2,006万円
アートを活かしたまちづくり推進事業費	375万円
男女共同参画推進費	337万円

衛生費 35億962万円



那須塩原クリーンセンター管理運営費	10億8,383万円
妊産婦・乳幼児保健費	1億1,552万円
ごみ減量化対策事業費	3,257万円

商工費 19億2,551万円



観光誘客促進事業費	1億 357万円
もみじ谷大吊橋管理運営費	3,097万円
企業誘致事業費	2,118万円

こんなことを審査・調査しました

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
【委員】◎齊藤誠之○吉成伸一、田村正宏、小島耕一、森本彰伸、鈴木伸彦、高久好一、君島一郎、玉野宏

那須塩原市市民活動センター条例の制定について

問 開館時間・休館日はどのように決定したのか。
答 利用団体から平日に活動することが多いとの意見があったため、平日は午前9時から午後10時まで、日曜・祝日は、午前9時から午後5時までの開館とした。休館日は、公民館の休館日と重ならないこと、祝日が多い月曜日でも利用できるよう、水曜日を休館日とすることとした。

答 そのとおりである。

那須塩原市東日本大震災復興推進基金条例の廃止について

問 基金の残高はいつゼロになったのか。
答 平成28年度の事業をもって残高がなくなった。

所管事務調査

3月9日、市民活動センター（平成30年4月1日開所）を視察してきた。



那須塩原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

問 報酬の金額はどのように決めているのか。
答 報酬の金額については報酬審議会で審査し決定している。

那須塩原市税条例の一部改正について

問 これまで固定資産評価審査委員会の委員は、3人で1案件対応していたとのことだが、審査委員が6人になるということは、2案件審査できるようになるということで良いのか。

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
【委員】◎佐藤一則○星宏子、山形紀弘、相馬剛、平山武、大野恭男、金子哲也、山本はるひ、中村芳隆

那須塩原市いじめ問題対策委員会条例の制定について

問 いじめに関しての連絡協議会などは今まで設置されてきたが、今回改めて委員会を設置する理由を伺う。
答 重大な事案が起きた時、専門的な知識を持つ5人の委員が、即調査に入る体制をとるため、今回条例を制定するもの。
問 いじめ問題対策委員会において、重大事案であるという判断のルールは、あるのか伺う。
答 対応に当たっては、ある程度のルールはある。

所管事務調査

3月13日、多機能型事業所（就労継続支援B型）で、黒磯地区にある「心の里」、西那須野地区にある「つくし」を視察した。また、塩原地区にある地域活動支援センター「ふれあいの森」の視察では、就労の様子を見学し、施設の概要などの説明を受けた。



那須塩原市スポーツ施設整備計画について

問 国体の施設を中心に整備することは当然だが、屋内施設の整備という文言がないように見えるが大きく方針を変更したのか伺う。
答 屋内施設の整備としては、くろいそ運動場体育館の耐震化、テニスコート管理棟の耐震化を予定している。方針を変更したという事ではない。

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
【委員】◎松田寛人○齋藤寿一、中里康寛、星野健二、櫻田貴久、伊藤豊美、眞壁俊郎、相馬義一

産業団地造成事業特別会計条例の制定について

問 第3条の弾力条項の内容を伺う。
答 地方自治法第218条第4項の規定により、業務量の増加および直接必要な経費に不足が生じた場合に増加する収入相当額を使用することができる。

答 委員には実態調査の内容などを説明し、状況把握して頂き意見を集約した。また、公共交通アドバイザーからは、市内3つの駅と新幹線の停車駅を有している特徴を生かしてほしいとの意見を頂いた。

所管事務調査

2月7日、那須地域環境対策連絡協議会と合同で、市内の産業廃棄物処理施設を視察した。また、3月9日は、西岩崎の頭首工付近、鳥野目第一水源取水施設、鳥野目浄水場および那須塩原クリーンセンターを視察した。



下水道条例の一部改正について

問 下水道の料金改定における検討内容および料金の基準を伺う。
答 料金の基準については、下水道審議会の答申を参考に検討した。検討内容は、少量利用者の負担増の抑制のため従量使用料を加えた。また答申では、大量排水する利用者の上げ幅が大きかったので、その上げ幅を抑える内容となっており、西那須野地区を参考に設定した。

地域公共交通網形成計画について

問 地域公共交通会議の委員からの意見をどのように集約したか、また本計画における公共交通アドバイザーからどのような講評を頂いたかを伺う。

予算常任委員会

【委員】◎齊藤誠之 ○佐藤一則 ○松田寛人、その他全議員

平成30年度那須塩原市一般会計予算

問 新庁舎整備事業費の基本計画策定支援業務の内容は。
答 基本計画の策定および設計の支援、契約方式の検討、概算事業費の算出、土地収用の手続き、図面の作成などの業務を予定している。

所に建て替えとなる。

問 体育館の必要面積が足りないのは、ほかの学校でもあるのか。
答 少なからずある。

問 那須塩原クリーンセンター管理運営費の管理運営包括的業務が今年度と比較して4億円増額となった理由を伺う。

問 妊産婦・乳幼児保健費の産後ケアは、何人程度を想定して試算したか。
答 那須塩原市の1年あたりの出生数が約1,000人であり、5%が何らかの不安を抱えていると考え、約50人を想定している。

答 那須塩原クリーンセンターは、平成30年度で10年目になる。設備にかかる部品が相当数あり、5年または10年ごとに補修が必要になる。煙の排出を抑えるためのバグフィルターなどに関係する多くの部品が交換時期になっている。

問 スポーツ団体への補助金として100万円計上されているが、その算出根拠は。

問 小学校体育館改築事業費について、埼玉小学校体育館の必要面積と現状の面積を伺う。

答 本市PRのユニホームなどへの掲載、小学生などを対象とした自転車チームによる自転車教室の開催、ハーフマラソン・駅伝大会でのユニホームを着ての先導のほか、巻狩りまつりなどのイベントへの協力などを含めて積算した。

答 必要面積はクラス数から計算され、1,258㎡である。現在の体育館の面積が507㎡であり、現在の場

討論

平成30年度 那須塩原市一般会計予算

賛成 ●平成30年度一般会計予算には「第2次那須塩原市総合計画前期基本計画」が目指す事業が予算化されている。また、「事業の選択」を行い、健全財政の維持にも配慮した予算となっている。財政の健全化に配慮しつつ、将来像の実現に向けたものであると評価できる。(森本 彰伸議員)

反対 ●本市の入園待機児童は50人で、昨年に続き県内最多である。民営保育所の整備にも行き詰まり、市内では事業者が集まらない。父母が望む認可保育所を増設し、再任用を繰り返す臨時保育士は本採用とすべき。市民に危険で負担を強いるマイナナンバーから撤退すべき。(高久 好一議員)

平成30年度 那須塩原市介護保険特別会計予算

賛成 ●高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた、健康づくりや介護予防、認知症施策、地域づくりなどの各施策に取り組むための適正な予算と判断し、賛成する。(大野 恭男議員)

反対 ●市は保険料を4月から300円値上げする。保険料を払っても施設に入所できない待機者が市に193人いる。県内には値上げしない5市町がある。市には財政調整基金の半分で3年分の値上げ分を賄う財源があり、市民の暮らしを第一にし、値上げはすべきでない。(高久 好一議員)

那須塩原市介護保険条例の一部改正について

賛成 ●本案は、介護サービスの見込み量や施設の整備、制度改正等による給付費の伸びとのバランスなどを総合的に勘案した結果である。介護保険財政調整基金の取り崩しを行い、保険料基準額の急激な上昇を抑制する配慮がなされており、適切な保険料率の設定である。(佐藤 一則議員)

反対 ●市は4月から介護保険料を月300円値上げするため、条例を改正する。市には、保険料を払い、希望しても施設に入れない待機者が193人いる。国保や介護の保険料を払うだけで精いっぱい、利用したくても控えざるを得ない市民が多く、改正に反対する。(高久 好一議員)

平成30年度 那須塩原市国民健康保険特別会計予算

賛成 ●国保の安定的かつ持続的な運営を目的とし、平成28年度の決算、平成29年度の医療費給付状況、保険事業費給付金などを分析し適切な保険運営のための予算としている。今回の条例の一部改正で資産割が無くなり、保険税滞納者の減少が期待できることから、賛成する。(相馬 剛議員)

反対 ●市は県への納付金が減ったにも関わらず、市民の一番関心のある保険料を明らかにしていない。保険証の取り上げが10年連続ワースト1位の栃木県。市は県で5番目、660世帯の取り上げをやめ、土日や夕方納税相談を強め、市民に優しい市になるべき。(高久 好一議員)

那須塩原市国民健康保険財政調整基金条例の一部改正について

賛成 ●那須塩原市国民健康保険財政調整基金は国民健康保険の保険財政を健全に維持するために改正される。平成30年度国民健康保険制度改革により栃木県も共同保険者となり市から県へ納付金額が不足する場合は税率が引き上げられ被保険者の負担を強いられるため。(星 宏子議員)

反対 ●この条例改正案は、市民への給付費を県が負担することになったから、市民から預かった大切な財政調整基金の使い道を優先し、県への納付金に充てるためのものである。国や県の財政支援は先細りで市民への給付を最優先にすべきで、県への納付に充てるのは最後で良い。(高久 好一議員)

都市計画道路3・3・4号線 東那須野東通りの整備計画への早期着手についての請願

賛成 ●この路線は、那須塩原市が県北の中心市として発展するとともに、那須塩原駅周辺の活性化と広域的な交通の拠点となるための重要な路線である。また、東那須野自治会長会、近隣企業、地権者からの要望があり、多くの市民から意見が寄せられていることから賛成する。(相馬 義一議員)

反対 ●討論者なし

請願の審査結果

No.	受理年月日	件名	請願者住所・氏名	結果
1	H30.1.18 (第1号)	都市計画道路3・3・4号線 東那須野東通りの整備計画への早期着手についての請願	〒329-3152 那須塩原市島方672-5 東那須野地区自治会長会会長 三本木 忠二 他26名	採択

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件のみ記載しています。

会派名	那須塩原クラブ							公明クラブ			敬清会		志絆の会		自民クラブ		フロンティアなすの		那須青山会	日本共産党	かがやき	採決結果					
議員名	山形紀弘	中里康寛	森本彰伸	齊藤誠之	佐藤一則	相馬剛	松田寛人	伊藤豊美	君島一郎	田村正宏	星野健二	星宏子	吉成伸一	大野恭男	相馬義一	玉野宏	鈴木伸彦	眞壁俊郎	金子哲也	櫻田貴久	中村芳隆		小島耕一	齋藤寿一	平山武	高久好一	山本はるひ
議案第9号	■平成30年度那須塩原市一般会計予算																									可決	
	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第10号	■平成30年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算																									可決	
	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第12号	■平成30年度那須塩原市介護保険特別会計予算																									可決	
	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第30号	■那須塩原市国民健康保険財政調整基金条例の一部改正について																									可決	
	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第36号	■那須塩原市介護保険条例の一部改正について																									可決	
	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

【○】は賛成 【×】は反対

庁舎建設検討特別委員会を設置

◎委員長 ○副委員長

庁舎建設検討特別委員会は、新庁舎の調査・研究を行い、議会として新庁舎建設のあり方を執行部に提言する特別委員会です。

◎中村 芳隆 ○山本はるひ 伊藤 豊美 眞壁 俊郎
相馬 義一 齋藤 寿一 君島 一郎 吉成 伸一

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第1号	那須塩原市教育委員会委員の任命について	同意
同意第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
同意第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第1号	平成29年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）	可決(全員)
議案第2号	平成29年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決(全員)
議案第3号	平成29年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決(全員)
議案第4号	平成29年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決(全員)
議案第5号	平成29年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決(全員)
議案第6号	平成29年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決(全員)
議案第7号	平成29年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第2号）	可決(全員)
議案第8号	平成29年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）	可決(全員)
議案第9号	平成30年度那須塩原市一般会計予算	可決(多数)
議案第10号	平成30年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算	可決(多数)
議案第11号	平成30年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算	可決(全員)
議案第12号	平成30年度那須塩原市介護保険特別会計予算	可決(多数)
議案第13号	平成30年度那須塩原市下水道事業特別会計予算	可決(全員)
議案第14号	平成30年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計予算	可決(全員)
議案第15号	平成30年度那須塩原市温泉事業特別会計予算	可決(全員)
議案第16号	平成30年度那須塩原市墓地事業特別会計予算	可決(全員)
議案第17号	平成30年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計予算	可決(全員)
議案第18号	平成30年度那須塩原市水道事業会計予算	可決(全員)
議案第19号	那須塩原市市民活動センター条例の制定について	可決(全員)
議案第20号	那須塩原市産業団地造成事業特別会計条例の制定について	可決(全員)
議案第21号	那須塩原市いじめ問題対策委員会条例の制定について	可決(全員)
議案第22号	那須塩原市社会福祉法人の助成に関する条例の制定について	可決(全員)
議案第23号	那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決(全員)
議案第24号	那須塩原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(全員)
議案第25号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決(全員)
議案第26号	那須塩原市税条例の一部改正について	可決(全員)

議案番号	件名	結果
議案第27号	那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について	可決(全員)
議案第28号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決(全員)
議案第29号	那須塩原市奨学資金貸与基金条例の一部改正について	可決(全員)
議案第30号	那須塩原市国民健康保険財政調整基金条例の一部改正について	可決(多数)
議案第31号	那須塩原市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部改正について	可決(全員)
議案第32号	那須塩原市学校給食共同調理場設置条例の一部改正について	可決(全員)
議案第33号	那須塩原市奨学資金の給付に関する条例の一部改正について	可決(全員)
議案第34号	那須塩原市体育施設条例の一部改正について	可決(全員)
議案第35号	那須塩原市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可決(全員)
議案第36号	那須塩原市介護保険条例の一部改正について	可決(多数)
議案第37号	那須塩原市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	可決(全員)
議案第38号	那須塩原市屋外広告物条例の一部改正について	可決(全員)
議案第39号	那須塩原市都市公園条例の一部改正について	可決(全員)
議案第40号	那須塩原市下水道条例の一部改正について	可決(全員)
議案第41号	那須塩原市特別業務地区建築条例の一部改正について	可決(全員)
議案第42号	那須塩原市東日本大震災復興推進基金条例の廃止について	可決(全員)
議案第43号	那須塩原市一般廃棄物処理基本計画について	可決(全員)
議案第44号	那須塩原市地域公共交通網形成計画について	可決(全員)
議案第45号	第3期那須塩原市障害者計画について	可決(全員)
議案第46号	第5期那須塩原市障害福祉計画について	可決(全員)
議案第47号	第7期那須塩原市高齢者福祉計画について	可決(全員)
議案第48号	第2期那須塩原市国民健康保険保健事業実施計画について	可決(全員)
議案第49号	那須塩原市林道橋梁長寿命化計画について	可決(全員)
議案第50号	那須塩原市立地適正化計画について	可決(全員)
議案第51号	那須塩原市住生活基本計画について	可決(全員)
議案第52号	那須塩原市市営住宅長寿命化計画について	可決(全員)
議案第53号	那須塩原市スポーツ施設整備計画について	可決(全員)
議案第54号	那須地区在宅医療・介護連携支援センター運営協議会の設置に関する協議について	可決(全員)
議案第55号	平成29年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）	可決(全員)
発議第1号	庁舎建設検討特別委員会の設置について	可決(全員)
発議第2号	議員の派遣について	可決(全員)



那須塩原クラブ
伊藤 豊美議員



黒磯駅および那須塩原駅周辺の整備予定は

問 黒磯駅および那須塩原駅周辺地区の都市再生整備計画事業について伺う。

答 市長 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業については、平成26年度からの5年事業で、平成30年度は最終年度となっている。主な事業は、黒磯駅西口広場整備工事、黒磯駅東西連絡通路西口階段改修工事、(仮称)駅前図書館新築工事のほか、まちなか交流センターと(仮称)駅前図書館の外構工事を予定している。那須塩原駅周辺地区都市再生整備計画については、新庁舎建設など関連事業との相乗効果により、民間活力による駅周辺地区の高度利用を目指し事業を計画しており、県北の中心都市にふさわしい玄関口となるよう検討していく。

平成30年度の主な農業政策の内容は

問 農業生産基盤を強化する圃場整備事業、農作物の販路拡大支援事業、思い出のふるさとごはん事業について伺う。

答 市長 農業生産基盤を強化する圃場整備事業については、佐野・三本木地区において県営事業として実施しており、平成30年度は調査・設計を実施する予定である。農産物の販路拡大支援事業は、アグリパル塩原の施設の老朽化に伴い、屋根の改修工事などを予定している。思い出のふるさとごはん事業は、新成人にお米を配布し、本市産米のおいしさを認知してもらい、消費拡大を図るとともに、学生などにふるさと帰郷と定住を促すものである。



公明クラブ
吉成 伸一議員



コミュニティ・自治会が担う協働のまちづくりについて

問 地区コミュニティからの運営補助に対する増額の要望や自治会への事業依頼が増加し負担であるなどの声にどう答えるか。

答 市長 コミュニティ運営費補助金が、充分でないと感じている団体があると思うが、コミュニティ活動の充実に向けて、公民館による連携など側面的な支援を引き続き行っていきたい。また、自治会への事業依頼については、自治会と行政それぞれの役割分担の下、施策の企画立案段階から参画いただき、やり方などについて十分に協議し理解した上で、協働の実践に向けていきたい。

問 自治会への依頼事業は、いくつあるのか。

答 企画部長 27部署で75件の事務事業を依頼している。

国内最大のウイルス性肝炎の対策について

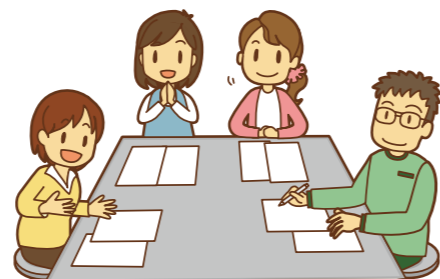
問 肝炎ウイルスに感染している人は、B・C型合わせると約300万人に上ると推測されている。本市の肝炎の重症化予防対策について伺う。

答 市長 早期発見のため、40歳以上を対象に肝炎ウイルス検診を実施している。受診者は1月末現在で1,184人で、陽性判定者へは精密検査の受診勧奨を行っている。

問 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業への実施について伺う。

答 社会福祉課長 フォローアップ事業を積極的に進めていきたい。

答 市長 平成28年以前の対象となる人も、もう一度精査することを約束する。



志絆の会
眞壁 俊郎議員



平成30年度市政運営方針について

問 都市力成長プロジェクトの県北の中心都市にふさわしいまちづくりについて伺う。

答 市長 新庁舎を初め、那須塩原駅周辺地区や幹線道路の整備を行うとともに、国や県、近隣市町との連携を一層強化し、県北の中心都市としてふさわしい拠点づくりを推進していく。

問 市長が考える県北の中心都市、栃木県の北都とはどのようなものなのか伺う。

答 市長 本市の持つさまざまな資源を最大限に活用し、生活基盤や都市基盤、観光拠点の整備などを行っていく。また、本市が中心市である那須地域定住自立圏で取り組んでいる事業も含め、国や県と連携し近隣市町と一体となった施策を実施していくことこそが県北の中心都市、栃木県の北都としての姿であると考えている。

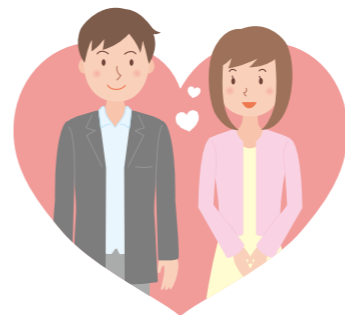
結婚サポート総合戦略について

問 総合的な結婚支援の推進について伺う。

答 市長 結婚施策を総合的に進めていく推進拠点として、昨年の7月6日に那須塩原市結婚サポートセンターを開設した。センターでは、お見合い形式で出会いの場を提供する縁結び事業や婚活セミナー、婚活イベントの実施、結婚に関する情報提供などを行っている。

問 栃木県との連携について伺う。

答 市長 とちぎ結婚支援センターの結婚支援管理システムを利用したとちぎ結婚支援事業を開始するほか、結婚サポーターなどの研修や各種結婚に関する情報の共有など、結婚支援の推進に向けた連携を図っていく。



フロンティアなすの
齋藤 寿一議員



教員の多忙化解消について

問 本市教員の勤務実態について伺う。

答 教育長 昨年9月の調査では、平日の時間外労働時間は約2、3時間となっている。

問 教員の多忙化によるストレスなどの実態は。

答 教育長 教職員対象のストレスチェックの結果によると、全国平均を大きく下回っている。

問 教員の多忙化を解消するための取り組みは。

答 教育長 昨年12月に教育委員会と校長会の代表者による教職員の働き方改革に係る検討会議を開催し、ICカードを使った勤怠管理システムの導入や、学校閉庁日の設定、部活動指導員の導入などについて話し合いを行った。

問 教員にとって時間のゆとりがしやすい午前5時間制について検討してはどうか。

答 教育長 午前5時間制は教員の放課後の時間が確保できる一方で、登校時間を早めたり、休み時間を短くするなどのデメリットも考えられる。新学習指導要領の完全実施に向け、時間割編成は大きな課題であり、総合的に研究をしていきたい。

鳥野目浄水場からの水道水異臭発生について

問 今回の異臭発生による原因は何か。

答 市長 2月9日の午後9時30分ごろから翌朝5時にかけて、原水の取水口より上流部において、アンモニアを含む何らかの物質が流入したのではないかと推測している。

問 今後の対策について伺う。

答 市長 危機管理マニュアルの改定や水道マッピングシステムの活用により、迅速な現場対応を図ってきたい。





佐藤 一則議員



防犯体制をさらに進めるためには

問防犯意識の高揚について伺う。

答市長 多様な犯罪を未然に防ぐため小中学生・高校生を対象としたインターネットトラブルに関するセミナーや、高齢者対象の特殊詐欺防止の講話を実施など、意識啓発と情報提供に努めている。

問インターネットトラブルの件数とその対応は。

答生活環境部長 平成30年1月末現在で消費生活センターに相談があった全718件のうち95件である。架空請求は安易に連絡しない、金銭は警察に届けるようアドバイスしている。

問特殊詐欺の発生件数について伺う。

答生活環境部長 29年は6件で被害額は約397万円で、対策として特殊詐欺撃退機器を昨年7月から1月末までに34台設置し、効果がでている。

問防犯灯の設置数の推移について伺う。

答生活環境部長 過去3年間で550基設置し、今後申請により約200基を設置する予定である。

問犯罪認知件数の推移について伺う。

答生活環境部長 過去3年間では約700件から900件であり、関係団体と連携し啓発活動する。

放射能問題に対する不安解消の取り組みは

問母乳などの放射性物質検査費助成について伺う。

答社会福祉課長 検査費用の2分の1を助成し、これまで55件の受診者すべて基準値以下である。

問除染のフォローアップについて伺う。

答総務部長 除染箇所の一例で市内小学校の平均放射線量が0.61から0.08μSvと約87%減少し、マップ記載の317地点の減少率が75%であることから除染した所は、約11%下がっている。



中里 康寛議員



那須塩原市の魅力を高める6次産業化・地産地消の推進について

問TPPの発効について、日本を含む11カ国による大筋合意の中では2019年の発効を目指しているが、本市の農畜産物への影響をどのように捉えているか。

答市長 農水省や県の試算では、品目により差があるが、生産額は相当程度減少するとしている。本市にもマイナスの影響が及ぶ状況にある。

問本市の農畜産物もTPP発効によってマイナスの影響がある中で、6次産業化や地産地消の推進は今後どのような位置づけで取り組むのか。

答産業観光部長 6次産業化・地産地消は、農業者の所得の確保対策の一つの柱になる。

問6次産業化は出口戦略が重要であると考えているが、本市の販路拡大の考え方を伺う。

答産業観光部長 直売所などを利用し、小さな規模でのスタートも考えられる。

問地産地消を促進し、生産者を守るためにはブランド戦略も含め、消費者のニーズを吸い上げて、いかに生産者に還元するかが重要であると考えているが、本市の考え方を伺う。

答産業観光部長 市がどう関わるかが大きな課題である。県やJAなどの関係機関と連携して進めて行く取り組みであると考えている。

問6次産業化や地産地消を推進する上で、飲食店や販売での活用、あるいは商品開発など地元農畜産物の利用促進を提案できる人材を育成する考えはあるか。

答産業観光部長 独自に人材を育成することは現在のところ考えていない。



山形 紀弘議員



本市の買い物弱者対策について

問買い物弱者（買い物に不便や苦勞を感じる人）を支援するために、企業や各種団体などと協力していく考えがあるか、また今後の買い物弱者支援の取り組みについて伺う。

答副市長 買い物弱者の支援は、課題である多角的なアプローチによる解決のためには、行政サービスだけではなく、企業や各種団体などとの協力が不可欠であると考えている。今後は、買い物弱者支援のため、市だけではなく、地域、各種団体および企業ならではの発想を生かしながら、連携を図ることについて研究をしていく。

SNSを活用したいじめ相談窓口について

問SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した相談体制を取り入れる考えはあるか伺う。

答教育長 本市では、児童生徒のSNSの利用については、さまざまなトラブルの原因となるおそれがあることから、どちらかといえば利用しないように指導をしている。まずは各学校における教育相談体制をさらに充実させ、SNSに頼らなくとも相談しやすい環境づくりに努めていきたい。SNSの活用は、今後の国あるいは県の動向を見ながら、気軽に相談できる一つの方法として研究をしていきたい。

問那須塩原市いじめ防止基本方針が3年を迎えるが、見直しが予定されているのか伺う。

答教育長 平成30年度に見直しを行う予定である。



相馬 剛議員



下水道事業について

問人口減少や市街地の空洞化などから、下水道事業の今後の展望と施策を伺う。

答上下水道部長 黒磯および塩原水処理センターは、老朽化が進んでいるため、長寿命化計画により整備を進めている。緊急度の高いマンホールふたの交換は186カ所、管路1.6kmの更新を予定している。また、黒磯水処理センターは、耐震設計基準を満たしていないため、新棟を建設する。地下の水処理施設は、耐震化を行う。また、下水道管路は計画に基づき重要な幹線の耐震化を進めている。平成33年度までの計画面積に対し29年度で81%完了となる見込みである。

資産管理について

問平成28年度の市の資産で、現金および山林・遊休地の管理について伺う。

答会計管理者 現金を扱う窓口は39カ所で、収納した現金は複数の職員で点検し指定金融機関へ払い込む。保管する場合は、金庫または施錠可能な書庫に保管する。公金は指定金融機関を通して支払い、支払資金に不足が生じる場合、基金繰り替え運用で対応している。

答総務部長 所有する山林の主なもの、旧高林財産区と学校林であり、管理計画は無いが分収造林契約で管理している。それ以外は、森林組合に管理委託し鳥獣対策を行っている。本来の目的は財産形成であるが木材市場の低迷により最小限の維持管理をしている。遊休地は、除草など最小限の管理を行っている。





櫻田 貴久議員



観光行政について

問 4月1日から行われるデスティネーションキャンペーン※（以下DC）の本市の取り組みおよびタイムスケジュールについて具体的に伺う。

答 産業観光部長 DC本番に向けては、観光局が中心となり4つの独自キャンペーンや二次交通対策、宿泊プランなどの受け入れ態勢を整え、2月9日には那須塩原市DC総決起大会を開催した。また、首都圏JR駅でのキャラバンや新聞、雑誌への記事掲載など、事前の告知宣伝を進め、4月からの本番を迎える予定である。

問 将来に向けての観光計画の作成について、具体的に伺う。

答 産業観光部長 今回のDCの検証も踏まえながら、来年度、具体的な計画づくりに着手をしたい。

スポーツでまちおこし

問 本市のスポーツを通してのまちおこしをどのように考えているのか。

答 教育部長 本市では、第2次那須塩原市総合計画や教育振興基本計画に大規模スポーツイベントの開催を位置づけている。また、東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の誘致やとちぎ国体の開催などにも取り組んでいる。スポーツを通したまちおこしは本市のスポーツ振興とともに、地域経済の活性化においても重要であると認識をしている。



※デスティネーションキャンペーン(DC)…JRグループ6社と地域が協働で取り組む国内最大規模の観光キャンペーン。



金子 哲也議員



その人の生き方を見つけるために子どもに読書

問 小学生、中学生の多感なときに、学校としてはどのように読書推進を行っているか。

答 教育長 本市の読書活動の推進については、子どもの読書活動推進計画を策定し、家庭、地域、学校などが連携し取り組んでいる。各学校では、図書館担当教諭や図書支援員を中心に、各教科の授業や課外学習について、積極的に学校図書館の活用を進めている。その他、朝の一斉読書活動の実施、推薦図書コーナーの設置、「図書館だより」の発行、ボランティアとの連携による読み聞かせなどを行っている。

問 子どもたちに人間としての生きる道を教える良書を誰が、どのように選んでいるか。

答 教育長 子どもたちが読む本については、図書館や学校が勧めるものを選ぶこともあると考えている。そのため、図書館において、子どもの発達段階に応じて推薦図書リストを作成している。また、乳幼児の健康診査や子育てサロンにおいて、図書リストや読書啓発資料の配布のほか、図書の展示を行っている。

那須野が原博物館の収蔵庫について

問 那須野が原博物館の収蔵庫がもはや美術品の収蔵庫としてはふさわしくない状況になっている。市の文化遺産を後世に残すため、緊急に収蔵庫の増築が必要と思うが、市の考えは。

答 教育部長 収蔵庫の増設の必要性は認識している。収集する資料の基準、安全かつ適切な環境での資料保管の方法などを検討しながら、準備を進めていきたい。



田村 正宏議員



子供の貧困と機会格差解消について

問 「誰一人取り残さない」を理念に、国連加盟国192カ国の総意により採択され、2030年までの達成を目指す「持続可能な開発目標」(SDGs)。そこに掲げられた17の目標は、1番から順に「貧困をなくそう」、「飢餓をゼロに」、「全ての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」となっており、子どもの貧困と機会格差の解消に絡む項目が4番までを占めている。近年、社会構造の変化により、格差の拡大は世界的な課題となっている。子どもの貧困を放置することは、世代間連鎖を誘発するだけではなく、税・社会保険料収入の減少、社会保障給付の増加といった社会的損失を招くとともに、社会の停滞や人的資源の不足など持続的成長に大きな影響を与えると思われる。子どもの貧困対策は、国の将来を見据えた未来への投資であり、市民の福祉向上のために現状と課題を共有する必要があると考えるが見解を伺う。

答 市長 本市では、子どもへの貧困対策として、就学援助、要支援児童放課後応援事業、学習支援事業などを行っている。就学援助については、今年度から、次年度に小中学校に入学する児童生徒の保護者に対し、新入学用品費を入学前に交付する新入学準備金の交付制度を開始した。また、「はじめてのふるさとごはん事業」の中で「子育て応援米」を寄附する旨の意思表示があった人の分について、子ども食堂などの運営の一助として活用している。貧困対策のために、税財源を確保することは重要であると認識をしている。



大野 恭男議員



待機児童解消に向けて

問 待機児童（入園待ち児童）の状況と課題および対策を伺う。

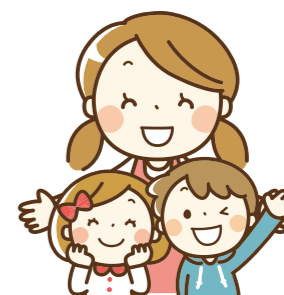
答 市長 平成29年10月1日現在で待機児童数は50人、入園待ち児童数は129人である。本市では、平成28年3月に那須塩原市保育園整備計画後期計画（以下計画）を改訂し、特に入園待ち児童が多い西那須野地区を中心に、保育定数約200人の拡大を図ることを目標に掲げ、各施策を推進しており、平成30年度には目標を達成できる見込みである。しかし、0～2歳児の入園希望者が増加していることから解消には至っていない状況である。今後は、地域・年齢バランスにも考慮した保育定員の拡大が求められ、多様化する保育ニーズへの柔軟な対応が課題であると考えている。引き続き、計画に基づき、私立幼稚園の認定こども園への移行などを推進し、保育定員の拡大を進めていきたい。

デザインマンホール蓋の導入について

問 デザインマンホール蓋およびマンホールカードを作成する考えはあるか伺う。

答 上下水道部長 デザインマンホール蓋の設置とそれに伴うマンホールカードが下水道のPRあるいは市の認知度向上、さらには観光の振興につながると思うので、財源という課題があるが関係部局で検討していきたい。

答 産業観光部長 マンホールカードがあれば市内の観光施設などで配布することは、交流人口の増加につながるものだと考える。





小島 耕一議員



まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進について

問とちぎの「南都」「北都」移住定住促進戦略を策定しているが、那須塩原市のPRポイントは。

答企画部長 田舎とまちが程よく共存し、ゆとりある生活、リゾートライフが楽しめること、また豊かな自然の中で子育てや余暇の有効利用が可能なことを売りにして情報発信に努めている。

問那須塩原駅は、駅周辺に駐車場が豊富で車でのアクセスが良いことが特徴で、リゾートライフを楽しむには素晴らしい環境にある。そこで、新幹線で東京に通う人のために、JRと一緒に駐車場を無料化を支援して、アクセスのよい駅をPRしてはどうか。

答市長 東京方面へ通勤している人に補助してはとの提案だが、実態調査をしていないため、意見として伺う。

農業の新規参入者の支援について

問国の農業次世代人材投資事業を活用して、本市で新規参入した農業者は何名いるのか。

答産業観光部長 これまでに18経営体で、県外から3経営体、市外から1経営体である。

問市として取り組む新規参入者の支援策は。

答産業観光部長 園芸作物の生産者を対象に農業用機械や施設整備等を補助する市独自の支援策について、整備を進める。

問シルバーファーマー支援塾で、施設園芸のアスパラガスや夏秋いちごを指導してはどうか。

答産業観光部長 農業公社の事業なので答弁は控えるが、方向性はあるだろうと思う。



齊藤 誠之議員



放課後児童クラブ（学童保育）について

問来年度(30年度)の入所希望について伺う。

答子ども未来部長 来年度の募集の状況での選考については、公設では12月の下旬に一度締め切りをしたが、申し込みが1,207件あった。

問公設民営と民設民営のあり方について伺う。

答子ども未来部長 放課後児童クラブは、子どもたちが安心して過ごせる生活の場であり、運営方法は異なっても目的は同じと考えている。民設民営のクラブについては、送迎や長時間の預かりなど柔軟な対応ができるので、働く保護者の選択肢の一つになっていると考える。

問各家庭の所得の状況に応じて補助制度を設けてみてはどうか。

答子ども未来部長 放課後児童クラブの利用料は各クラブで管理しているため、保育園のような所得区分に応じた補助については、現状では難しいものと考えている。しかしながら、低所得世帯に対して利用料の減免を行っている自治体もあるので、国の動向を注視しながら補助制度について研究して行きたいと考えている。

全天候型の子どもの遊び場の設置について

問行政側から民間の事業者に、施設を建てるようPRができないか伺う。

答市長 この件については、担当部局に調査研究の指示を出したところである。まず、公共施設で本当に使えるスペースがないのか徹底的に洗い出しを行う。また民間の力を借りる方法がないか、民間施設に話をもちかけ、タイアップする方法が取れないか検討したい。



山本 はるひ議員



ゆ〜バス・予約ワゴンバスの利便性アップへ

問平成30年度当初予算のゆ〜バス・予約ワゴンバス運行費について、その事業内容を伺う。

答市長 この運行費については、主に交通事業者に対する補助金となっている。今年の9月末に協定が終了するので、那須塩原市地域公共交通網形成計画に基づき、運行形態を見直して継続していきたい。そのほか、バス停の増設、市民への周知、運行見直し後の実態調査などを予定している。

問地域住民にとって利便性が向上する点を伺う。

答生活環境部長 予約ワゴンバスについては、車両をタクシーに変更し、全ての区間をフリー降車にして停留所の数を増やすほか、予約を30分前までにできないか協議中である。車両がタクシーになれば台数が増えるので、運行間隔を短くできないか、検討していきたい。

市民からの要望で実現する事業について

問予算の中で市民や議会からの要望、要求などを取り入れて事業にしたものはあるか。

答総務部長 子どもたちの安全・安心を守るために必要という意見が相当あったので、グリーンベルトの設置などが予算に反映されている。

問市民や議会の意見、要望などを事業として選定していく時の基準を教えてください。

答市長 市民の意見をすべて事業化、予算化することはできないので、市民にとって必要性や優先順位はどうか、担当において精査して、本当に必要であれば予算化に向けて進めていくというシステムはできていると思っている。



森本 彰伸議員



市民活動センターの運営について

問市民団体間の連携に当たって、優秀なコーディネーターがいると効果的と考えている。コーディネーターを特別に採用する考えはあるか。

答企画部長 コーディネート機能がセンターにはとても重要である。協働のまちづくり推進協議会やワークショップで、ぜひコーディネートをセンターに設置してもらいたいという要望が寄せられた。設立当初は専門にコーディネーターを採用するというわけにはいかないが、団体の横のつながりをサポートし、団体と行政をサポートできるセンター長を採用したい。

地域包括支援システムの構築について

問地域包括支援センターが8カ所ということだが、那須塩原市はとて面積の広い市であり、手薄になってしまうところがあると思う。高齢者は相談に行くのも大変ということもあると思うが、手薄になっているところに受付や相談の機能を持たせたランチをつくり、高齢者や家族が相談しやすい体制をつくることはできないか。

答保健福祉部長 市の面積はかなり広いが、何とか電話などで対応できる部分がある。ランチという手法もあるが、スペース、人員の確保が必要なので、難しいところもある。市では委託型で実施しており、担っている法人との相談なども発生するので、今後の課題としたい。





平山 武議員



将来を見据えた中核市の実現について

問市長は年頭に「県北の中心都市に相応しいまちを目指す」と挨拶した。県北の核となる中核市(20万人)を目指すべきと思うが市長の考えを伺う。

答市長 中核市は法定要件人口20万人以上を満たす必要があることから本市の状況を考えると難しい状況にあると思っている。まとめ役として近隣市町との連携に力を注ぎ、栃木県の北都としての役割を担っていきたくと考えている。県内の中核市は宇都宮市だけであり、今後も研究していきたい。

コミュニティの充実について

問設立の趣旨・状況、活動内容について伺う

答企画部長 少子高齢化社会を見据えた場合、自治会の枠を超えた組織であるコミュニティの設立が求められる。現在16コミュニティが設立され、盆踊りや運動会、コミュニティ祭りなどが行われている。

問コミュニティの活動拠点である公民館との連携について伺う。

答教育部長 規則で事務所・事務局は公民館に置くとなっているが、一部会長宅などに置くところもある。

問コミュニティは公平性の観点から15の公設公民館を核として運営すべきと思うが考えを伺う。

答市長 黒磯地区、塩原地区については取り組みが少し遅れてきたという状況もあるが、将来的には15公設公民館の構想もあり、当面は地域にコミュニティ組織を立ち上げていくことに力を注いでいきたい。



鈴木 伸彦議員



高齢者人口増加と支え手の減少が課題

問第7期高齢者福祉計画のビジョンについて伺う

答保健福祉部長 重度な要介護状態となっても、可能な限り住みなれた地域や自宅で生活したいと望む高齢者や家族が、地域住民の理解や支え合いによる支援、医療介護などのサービスを切れ目なく受けながら健やかに生き生きと暮らせるまちの実現を目指している。

問推進体制について伺う

答保健福祉部長 計画実現に向けては地域住民、医療や介護の専門職、関係機関団体などが協議する各種会議などにより推進しており、大きく3種類の体制がある。1つ目は、個別の事例から地域課題を明らかにする地域ケア会議、2つ目は地域住民が中心となって専門職と一緒に地域づくりを進める協議体、3つ目は地域ケア会議や協議体から提起された課題から、市全体で取り組むべき課題解決に向けた検討を行う地域包括ケア推進会議がある。

企業誘致の取り組みについて

問高林地区の産業団地造成事業計画の経緯と誘致方策について伺う。

答市長 本市では人口減少問題に対応するため、企業立地の促進に取り組んでいるところであるが、市内に立地を希望する企業に紹介できるまとまった用地を有していない状況である。市は、企業の設備投資計画が増加傾向にある現状を好機と捉え、栃木県など関係機関と連携をした企業誘致活動を行うことにより、当該産業団地への早期企業立地につなげていきたいと考えている。



高久 好一議員



保育行政について

問本市の待機児童が50人で、昨年に続き今年も県内最多となっている。保育所の民営化にも行き詰まり、市内では事業者が集まらず、整備に遅れが出ている。父母が望む公立保育所をどう考えているか。また、保育の質を確保するための保育士の確保と処遇改善はどのように行われるのか。

答子ども未来部長 平成27年、市内事業者にアンケートを行い、募集に応募の用意があると回答を得ており、民営化の推進を行うことは可能だと考えている。子どもの最善の利益を考慮し、保護者に寄り添った教育保育が提供できるよう努めたい。臨時保育士の賃金については、必要に応じて見直しを行っており、4月からパート保育士の時給単価を950円から1,000円に値上げすることで改善を予定している。

国民健康保険の都道府県化について

問国民健康保険の都道府県化が行われ、市民が払いやすく、市民の健康と命を守る社会保障制度となっているか、市の考えを求める。財政運営が県に移り、滞納をなくす活動が強化され、過酷な差し押さえが報道されているが、市の対応は。

答総務部長 滞納の差し押さえは、これまで通り市が行うことになる。今後についても法令に基づいて実施していきたい。

問本市の市民1人当たりの保険料は上がるのか、下がるのか具体的に聞かせて欲しい。

答保健福祉部長 本市は、今年度資産割をなくしたいと考えている。多様な世帯の状況があるので一言では答えられない。



議会報告会・意見交換会を開催します

議会の活動報告のほか、設定されたテーマやその他について、市議会議員と意見交換を行います。申し込み不要で、誰でも参加できます。都合のよい会場に来てください。

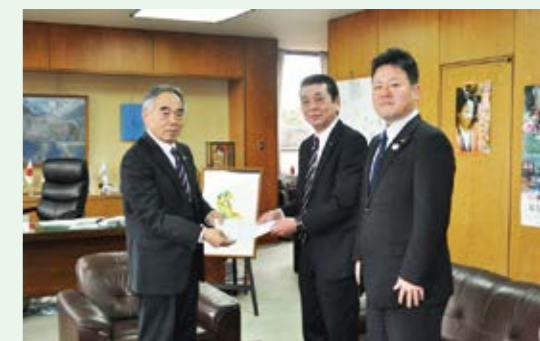


開催日	開催時間	開催場所
5月14日(月)	午後6時30分～	大山公民館
5月15日(火)	午後1時30分～	ハロープラザ
	午後7時～	三島公民館
5月16日(水)	午後6時30分～	とようら公民館
5月18日(金)	午後1時30分～	高林公民館
5月19日(土)	午後7時～	黒磯公民館

議会報告会の報告書などを市長へ提出

昨年11月に開催した議会報告会と意見交換会で、市民の方からいただいた意見をまとめた報告書およびその意見の中から市政に対し、特に取り上げるべき9項目を書面にして、議長から市長へ提出しました。

報告書などの詳しい内容については、市のホームページに掲載されています。



報告書を君島市長(左)に提出

Future

～わたしの夢～ No.3

三島小6年

ひなの 赤羽 陽菜さん

将来の夢はサッカー選手

おなかを手術して経管栄養となり、ゼリーしか口にできなくなったおばあちゃん。看護師のお母さんを中心に家族で介護すると決めて、夕食はおばあちゃんのベットの周りでみんなで食べました。その楽しい思い出を手紙にして、内閣府で募集した平成29年度「家族や地域の大切さに関する作品コンクール」に応募。小学生の部で優秀賞をもらいました。野菜嫌いの私のためにおばあちゃんが作ってくれたもやしのハンバーグが一番の好物です。尊敬する人は、最期まで頑張って生きたおばあちゃん、一生懸命介護したお母さんです。私の将来の夢は大好きな澤穂希選手のように日本を代表するサッカー選手になることです。



議会からのお知らせ (抜粋)

5月

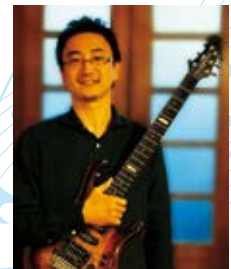
14 月	18:30	～議会報告会 (大山公民館)
15 火	13:30	～議会報告会 (ハロープラザ)
	19:00	～議会報告会 (三島公民館)
16 水	13:30	～議員全員協議会 (議場)
	18:30	～議会報告会 (とようら公民館)
18 金	13:30	～議会報告会 (高林公民館)
19 土	19:00	～議会報告会 (黒磯公民館)
25 金		議会運営委員会開催予定

6月

1 金	10:00	～6月定例会開会予定日
4 月	9:30	～議場コンサート

第10回議場コンサート

- ♪ 日時
平成30年6月4日(月)
午前9時30分～45分
- ♪ 場所
市役所本庁舎4階議場
- ♪ 演奏者
瀬戸 竜介氏(ギター)
- ♪ 演奏曲目
かくれんぼ、那須の四季
- ♪ その他
入場無料、事前の申し込みは不要です。



瀬戸 竜介氏



議会関係の視察件数

(平成30年3月～4月)

行政視察(議会関係)で本市を訪れた自治体を紹介します。

No.	日にち	来訪者	視察項目
1	3/22	栃木県高根沢町	議会活性化、議会改革への取り組みについて
2	4/20	鳥取県鳥取市	議会改革の取り組みについて

編集後記

5月5日は子どもの日。暦の上では立夏で、早くも夏を迎えようとしています。市内各地で鯉のぼりが大空を元気に泳ぐ光景が見られます。子どもの成長を願い、親族みんなで『健康で元気に成長してほしい』『出世魚にあやかって将来を願う』そんな意味が鯉のぼりには込められているそうです。“ぎかいのひととき”も議会広報誌として成長し、皆さまに喜んでいただけるよう頑張っていますのでよろしくお願いいたします。(山形紀弘)